

公益財団法人 前川財団

第10回 未来教育シンポジウム

今回は『子どもの育ち』をテーマに、『こころ』と『からだ』の育ちについて取りあげます。基調講演は長年『子ども集団歩き遍路』活動をされております福山平成大学教授山崎洋子先生をお迎えし、『子どもの育ち』についてご講演いただきます。さらに第二部では日本の伝統文化を活かした学びについてご紹介いただき、現代の子育てについて皆さまと共に考えたいと思います。

2019

6月29日 13:00~16:00
(12:30開場) 日±

会場:公益財団法人 和敬塾(大講堂)

東京都文京区目白台1-21-2

- ◎[JR目白駅]都バス(白61新宿駅西口行)[目白駅前]7分→[目白台三丁目]下車 徒歩1分
 - ◎[東京メトロ有楽町線・護国寺駅6番出口] 徒歩10分
 - ◎[同・江戸川橋駅1a出口]都バス(白61練馬駅・練馬車庫前行)[江戸川橋]2分→[目白台三丁目]下車 徒歩1分
 - ◎[同・江戸川橋駅1a出口]文京区コミュニティバス(目白台・小日向ルート)[江戸川公園]8分→[目白台一丁目]下車 徒歩3分
- 駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用ください。

託児あり

2歳から就学前までのお子さまが対象

※託児希望の方は先着順となりますので予めご了承ください。

参加費
無料



第一部 13:00~

基調講演(60分)

『子ども集団歩き遍路』と子どもの育ち

この世に生を受けた子どもは、他者によるケアを受けながら、自らにそなわった様々な機能・能力を存分に発揮し、自分らしい人生を歩んでいきます。そこで着目したいのは、二足歩行をする人間にそなわった「歩く」という能力です。それは本能に近い能力ということもできます。今回取り上げる「子ども集団歩き遍路」(2泊3日)は、異年齢の子どもたちがグループを作り、お遍路という伝統文化を借りて、助け合いながら歩き・生活をする活動です。私たちが15年間にわたって取り組んできたこの活動の中で、子どもたちが実際にどのように変わり成長したかについてお話しし、子どもの育ちと文化伝統の問題について考えてみたいと思います。



福山平成大学教授
武庫川女子大学客員教授
山崎 洋子氏

第二部 14:20~

話題提供(40分)

『こころとからだで言葉をつむぐ』

幼児教育では「伝え合う力」の育成が求められており、言語能力がその中核をなします。「心は言葉によって作られ」、「言葉は声と身体」の活動を通して獲得されます。日本の誰もが子ども期に親しんだ「伝承遊び」は、「こころ」と「からだ」を通じた言葉育での知恵に満ちていました。幼児の心身と感性も伝承遊びが育んできたとも言えます。ところが今、その伝承が危うくなっています。今回は、「わらべうた」や「手遊び」を始めとする伝統的な遊びが、どのように子どもの身体知の育成につながるのか、実践を交えて考えてみたいと思います。



びわこ学院大学
短期大学部准教授
榎本 恵理氏



びわこ学院大学
短期大学部講師
杉本 栄子氏



辻本 雅史氏

会場一体となったディスカッション [コーディネーター] 中部大学副学長 辻本 雅史氏

[パネリスト] 山崎 洋子氏 榎本 恵理氏 杉本 栄子氏

主催/公益財団法人 前川財団

後援/早稲田大学、鳴門教育大学、武庫川女子大学言語文化研究所、公益社団法人日本教育会
一般社団法人総合幼児教育研究会、公益財団法人和敬塾

※Webでのお申込は

右記QRコード、または下記URLよりお申込ください。

申込期限/2019年6月21日(金)まで

<https://www.mayekawafoundation.org/form/20190629.html>





山崎 洋子氏

福山平成大学教授
武庫川女子大学客員教授

大阪市立大学生活科学研究科単位取得満期退学。博士(学術)。鳴門教育大学教授、武庫川女子大学教授を経て現職。専門は、教育学・教育思想史。「ニール「新教育」思想の研究—社会批判にもとづく「自由学校」の地平—」(大空社、1998)、訳書『幸せのための教育』(知泉書館、2008)などがある。



辻本 雅史氏

中部大学副学長
京都大学名誉教授

京都大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。専門は日本教育史、思想史。京都大学大学院教育学研究科教授、国立台湾大学教授を経て現職。主な著書に『「学び」の復権・模倣と習熟』『思想と教育のメディア史—近世日本の知の伝達』『教育を「江戸」から考える—学び・身体・メディア』『近世教育思想史の研究: 日本における「公教育」思想の源流』ほか多数。



榎本 恵理氏

びわこ学院大学
短期大学部准教授

同志社大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程修了。博士(教育学)。専門は日本教育史、思想史、教科教育国語。びわこ学院大学准教授を経て現職。『論集現代日本の教育史第7巻「身体・メディアと教育」』(共著、日本図書センター、2014)、『同志社の思想家たち上下』(共著、晃洋書房、上巻2018、下巻2019)など。



杉本 栄子氏

びわこ学院大学
短期大学部講師

滋賀女子短期大学卒業後、滋賀県公立職員として、保育園や幼稚園、教育委員会で32年間勤務。その後、びわこ学院大学附属こども園「あぶる」立ち上げに関わり、園長を経て現職。滋賀県保育協議会保育士会会長、理事を経て、平成21年度より愛宕町子育て支援センター運営委員長(現在継続中)。

開催日時

2019年6月29日(土)
13:00~16:00(12:30開場)

会場

公益財団法人 和敬塾(大講堂)
東京都文京区目白台1-21-2

◎駐車場の用意はございません。公共交通機関をご利用ください。

- ◎[JR目白駅]都バス(白61新宿駅西口行)[目白駅前]7分→[目白台三丁目]下車 徒歩1分
- ◎[東京メトロ有楽町線・護国寺駅6番出口] 徒歩10分
- ◎[同・江戸川橋駅1a出口]都バス(白61練馬駅・練馬車庫前行)[江戸川橋]2分→[目白台三丁目]下車 徒歩1分
- ◎[同・江戸川橋駅1a出口]文京区コミュニティバス(目白台・小日向ルート)[江戸川公園]8分→[目白台一丁目]下車 徒歩3分



お問合せ

公益財団法人 前川財団
TEL/FAX 03-5639-1140

申込方法

参加申込は、Webフォームまたは
FAXにてお受けいたします。

※右記QRコード、または下記URLよりお申込ください。

<https://www.mayekawafoundation.org/form/20190629.html>

申込期限/2019年6月21日(金)まで



FAXでお申し込みの場合はこちらにご記入の上お送りください。 **FAX 03-5639-1140**

ふりがな		TEL	
申込者氏名		E-MAIL	
		FAX	
住所	〒 -		
ふりがな		TEL	参加合計人数
同伴者氏名		E-MAIL	
ふりがな		TEL	名様
同伴者氏名		E-MAIL	

※ご記入いただきました個人情報は、シンポジウム以外の目的に利用することは一切ありません。なお、会場の様子をWebその他媒体に掲載する可能性がありますので、あらかじめご了承くださいようお願いいたします。
※託児サービスを利用希望の方は、お子様のお名前・年齢の記入をお願いいたします。